

植物の体の共通点と相違点(3)

【1】次の文章は被子植物の葉や根のつくりと、それらを観点とした分類について説明したものである。
()に当てはまる言葉を書くか、○で囲みなさい。

- (1) 葉に通っている筋を、(**葉脈**) という。
- (2) アブラナのように網の目状に広がる葉脈を(**網状脈** ・ 平行脈)、ツユクサのように平行に並ぶ葉脈を(**網状脈** ・ **平行脈**) という。
- (3) 網状脈をもつ植物の根は、太い(**主根** ・ 側根 ・ ひげ根) から細い(**主根** ・ **側根** ・ ひげ根) が出ている。
- (4) 平行脈をもつ植物は、根本から多数の細い根が出ている。このような根を(**主根** ・ 側根 ・ **ひげ根**) という。
- (5) 子葉が2枚である植物のなかまを(**双子葉類** ・ 単子葉類)、子葉が1枚である植物のなかまを(双子葉類 ・ **単子葉類**) という。
- (6) 双子葉類の葉脈は(**網状脈** ・ 平行脈) であり、根は(**主根と側根** ・ ひげ根) からなっている。
- (7) 単子葉類の葉脈は(網状脈 ・ **平行脈**) であり、根は(主根と側根 ・ **ひげ根**) からなっている。
- (8) 双子葉類は花のつくりの特徴からさらに(被子植物と裸子植物 ・ **離弁花類と合弁花類**) の二つのなかまに分類できる。
- (9) 被子植物や裸子植物のように、花を咲かせ種子をつくって子孫を殖やす植物を(**種子**) 植物という。

【2】次の文章は、種子をつくらない植物について説明したものである。()に当てはまる言葉を書くか、○で囲みなさい。

- (1) 種子をつくらない植物のうち、ワラビのように葉や茎と根の区別があるものを、(**シダ植物** ・ コケ植物)、ゼニゴケのように葉や茎と根の区別のないものを(シダ植物 ・ **コケ植物**) という。
- (2) シダ植物とコケ植物は、花を(**咲かせない** ・ 咲かせる)。また、種子を(つくる ・ **つくらない**)。
- (3) イヌワラビやワラビの葉の裏側には(**胞子のう** ・ 花粉のう) という褐色の小さな袋があり、この中には(**胞子**) が入っている。
- (4) コケ植物の多くは、(**日当たりの悪い湿った** ・ 日当たりのよい乾いた) 場所で生活している。根のように見える部分は(**仮根** ・ 主根) といい、からだを地面に固定するはたらきをしている。
- (5) ゼニゴケやスギゴケには、(**雌株と雄株** 雌花と雄花) があり、(**雌株** ・ 雌花) に見られる胞子のうの中には、(**胞子**) が入っている。